



## 笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

### 新1年生を迎えて

4月7日(木)は、第45回入学式でした。86名の子供たちを迎えました。きらきらしている子供たち。見ているだけで、心の中が温かくなりました。保護者の皆様、御入学おめでとうございます。

1年生を迎えるにあたり、6年生が前日準備をしました。教室や廊下の整備、昇降口の掃除、トイレ・手洗い場の掃除、体育館の式場準備など。本当によく動いていました。「1年生で知ってる子はいますか」と聴くと、「たくさんいます」「妹が入学します」「1年生の入学、楽しみです」など、1年生を早く迎えたいという気持ちにあふれていました。6年生の言葉や一生懸命準備をする姿に、1年生は安心して学校に通うことができると思いました。6年生のみなさんに感謝です。

入学式を迎えた1年生も素晴らしかったです。私からの話は、少し長かったと思いますが、話の間、子供たちがしっかりと私を見て話を聴く姿に感心しました。話の途中、「はい」という返事や、「ありがとうございます」という言葉がたくさん返ってきました。その素晴らしい姿の1年生に対し、御来賓で参加して下さったPTA会長の臼井宏樹様から、「これからが楽しみです」と、式終了後、お話をいただきました。

さて、新しい教科書、新しい文房用具に囲まれ、子供たちは、早く勉強したいという思いをふくらませているのではないのでしょうか。「学校の中で、一番の楽しみは何ですか」という質問に、「勉強すること」と答える割合が一番高いのは、1年生であると、研修会

で伺ったことがあります。子供たちは、「勉強すること」について、わくわくした思いをもっていることと思います。その思いに応えていきたいと考えます。

また、入学式で話した2つのことも大切にしていきたいと考えています。一つ目は、「早寝・早起き・朝ごはん」です。この3つのことは、子供たちの健やかな成長のためには欠かせないものです。ぜひ、御家庭でも習慣化が図れるように、御協力いただきたいと思えます。二つ目は、自分の思いを言葉に出して伝えることです。自分の思いを言葉にするためには、温かな聴き方が必要です。困った時に、話を聴いてくれた、助けてくれた、気持ちをわかってくれたという安心感をもてるのが大切です。小さな出来事を通して、一つずつ温かな気持ちを積み上げていくことができるように、子供たちを支えていきたいと考えています。

8日(金)の朝、横断歩道の所で挨拶をしていると、1年生の子供たちから、「おはようございます」と元気な挨拶が返ってきました。もちろん、班長や他の学年の人達も元気な挨拶をします。挨拶は、「相手に心を開く」という意味があり、人と人とが繋がる上で大切なことなのだ、高校の恩師が教えてくれたことを思い出します。みんなで気持ちのよい挨拶をしながら、みんなの心が繋がっていく一歩になることを願っています。温かな地域の方々や保護者の皆様の方で支えられている入谷小学校。子供たちの成長のために、1年生の保護者の皆様との新たな繋がりを大切にしていきたいと考え、教育活動を進めていきたいと考えています。